

みんなで
考えよう
人権・同和問題
No. 202

このコーナーでは、隔月のシリーズで掲載
しています。これを手がかりに、家庭で人権・
同和問題について話し合ってみましょう。

みんな違っていいことを尊重する

支え合い寄り添って生きて
いるから『人』という字になっ
たといわれるように、人は一
人では、生きていくことがで
きません。生きていくうえで、
人間関係などの基盤となるの
は家族ですが、最近では、子ど
もが親を痛めつけたり親が子
どもを虐待したりするといっ
た報道も少なくありません。こ
のようなことは、親子の絆が
社会生活の変化に伴い希薄に
なっていることが原因で起き
ているのではないのでしょうか。
あなたには、「自分が生活を

支えているのだから、家族を自
分の思いどおりにしても良い」
などという思い込みはありま
せんか。「家族だから言わなく
ても分かってもらえるだろう」
ではなく、家族であつても、そ
れぞれ考え方は違いますし、家
族だからこそしっかり向き合
い、お互いを尊重する生き方を
していくことが大切でしょう。
虐待されて育った子どもは、
自分の子どもを虐待してしま
うという連鎖があるそうです。な
ぜこのようなことが起きるので
しょうか。人間は、自分が経験

したことしか分からないという
習性を持つており、この習性が、
悪い連鎖を引き起こしている
要因だと考えられています。

家族は最小の社会ですが、
人は家族を含めた社会の中で
生きていくうえでは、多くの
人と接しなければなりません。
中には、思いも及ばない
事情や悩みを抱えている人
や、自分とはまったく違うも
のの見方、考え方をしている
人もいます。また、同じ物事
でも受け止め方や感じ方は人
それぞれです。相手を尊重す
る意識を持ち、「自分がこう
思うのだから、他人もこう思
うはず」と考えるのではなく、
「みんな違う」という前提で考
え行動し、言葉を発することに
が良い人間関係を築くことに
つながっていきます。

市老連芸能交流会が和やかに開催

12月4日、第14回伊万里
市老人クラブ連合会芸能交
流会が、市民センターで行
われました。

この日は、午前と午後の
部の2部構成で行われ、市
内の老人クラブ会員が各町
ごとに、踊りや詩吟、寸劇

などの演舞を披露しました。

42組による多彩で、日ごろ
の稽古の成果が発揮された演
舞の連続に、満員の会場から
は、終始惜しめない拍手が送
られ、和やかなムードのなか、
皆さん心ゆくまで発表を楽し
んでいました。



『長崎みれん』を踊る東山代町の会員

郷土の文化財

遺跡から見る伊万里の歴史⑨

◆問合先 生涯学習課
(☎33186)

山ノ寺遺跡

（松浦党と密接にかかわる山岳寺院遺跡）

山ノ寺遺跡は、東山代町
川内野に所在し、国見岳の
南東1.7キロ、標高441メ
ーの高所に位置しています。
この遺跡は、昭和56、57年
の発掘調査で輸入陶磁器が
出土したことか
ら、室町時代の
14世紀後半には
利用されていた
と推測されてい
ますが、それよ
り前から利用さ
れていたかどう
かは分かってい
ません。



↑伝 源四郎太夫直墓

より強めるため
のものだったの
ではないでしょ
うか。

松浦党は、伊
万里の中世の歴
史を語るうえで
欠かすことので
きない存在で
す。山ノ寺遺跡は、その松
浦党にまつわる重要な遺跡
であるため、現在、市の史
跡として保護が図られてい
ます。また、現在でも党祖
祭りが毎年行われるなど、
かつての松浦党の絆を象徴
しています。